

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業	H24 ~ H27	世界遺産「斎場御嶽」周辺地は琉球王国時代の歴史的遺産を今日まで残す貴重な地域であるが、一部石畳参道が大雨による影響で崩壊し危険な状況である。そのため本事業により石畳参道やウローカーとよばれる拝所等を整備し広く一般公開することにより、世界遺産「斎場御嶽」の更なる魅力を伝え、観光客等誘客促進を図る。	国の重要文化財(史跡、戦争遺跡)指定に向けた復元整備		繰	
1	2	スポーツツーリズム推進事業	H24 ~ H30	本市陸上競技場は、スポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持・管理する人材を育成する。	サッカーキャンプ等の受け入れ(3チーム)	サッカーキャンプ等の受け入れ(3チーム)		
1	3	観光交流サイン整備事業	H25 ~ H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	(道路愛称版の設置) ・来訪者の円滑な誘導に資する。 (観光等誘導看板の設置) ・カーナビゲーションの情報のみには頼らない景観に配慮した情報を配信することにより来訪者に対するサービスの向上が図られる。 (集落域文化遺産サイン整備事業) ・来訪者の文化遺産への理解や到達の利便性の向上 ・地域住民の地元にある歴史文化遺産の再認識、活用 ・市民と来訪者の歴史文化遺産を通しての交流促進	道路愛称版:設置 観光等誘導看板:設置 来訪者の文化遺産への理解や到達の利便性:向上 地域住民の地元にある歴史文化遺産:再認識、活用 市民と来訪者の歴史文化遺産を通じた交流促進		
1	4	デマンド交通実証実験事業	H24 ~ H27	デマンド交通の運行実施計画案(H24策定)に沿って、試験運行(H25~H27年度)を実施しながら、必要車両台数、運行時間の分析と既存交通機関との連携等について検討し、南城市型の交通システムの確立を図る。	・乗車人数(1日):100人 ・運行時間や必要車両台数など、本格運行に向けた運行形態の把握	乗車人数(1日):128人 運行時間や必要車両台数など、本格運行に向けた運行形態の決定		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5		尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ~ H30	平成25年度で策定された「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。尚巴志の普及、尚巴志スピリットの育成、エコミュージアムの基礎を築き、文化資源を活用した観光振興、地域振興を図っていく。	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校4年生:460名(久高小は全児童) 「文化講演会」 ・目標客数:100名 「尚巴志の絵本制作・刊行」完了 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」 ・参加者10名 3. エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」 ・合計観客動員数:200名 「地域孫会議事業」 ・参加者30名 「琉歌募集事業」 ・応募者数:150首	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校4年生:460名 「文化講演会」客数:100名 「尚巴志の絵本制作・刊行」完了 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」参加者:延べ120名 3. エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」合計観客動員数:400名 「地域孫会議事業」参加者120名 「琉歌募集事業」応募者数:146首	
1	6		観光振興将来拠点地整備事業	H25 ~ H29	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	・H28年度の造成整備に向け実施設計の完了 ・用地取得率:92.1% (全体計画面積:71,719㎡) H25:11,148㎡、H26:23,119㎡(予定)、 H27:31,797㎡(予定)		繰
1	7		世界遺産「斎場御嶽」ガイド施設整備事業	H26 ~ H27	世界遺産斎場御嶽を3Dデータとして整備し、既存施設「がんじゅう駅・南城」及び「緑の館セーファ」を活用し「斎場御嶽ガイド施設」として再整備する。斎場御嶽の現状をデジタルデータ化することで、斎場御嶽へ入域出来ない観光客へのサービスの向上と災害時の復旧に寄与する。又、歴史的な背景をビジュアル的に演出することにより、斎場御嶽にまつわる伝説や信仰を、“ものがたる”ことにより、本市を起点とする県域観光の促進を図る。	・整備が完了し、運用を開始することにより斎場御嶽をはじめ県内世界文化遺産の文化的価値の発信力を高める体制を整える。	・整備が完了し、運用を開始することにより斎場御嶽をはじめ県内世界文化遺産の文化的価値の発信力を高める体制の構築	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	8	地域Wifiネットワーク整備事業	H27 ~ H29	市内の観光スポットを中心に無線ネットワーク機器(アクセスポイント)を設置することで地域無線インフラの構築を行う。構築後は観光ポータルサイトの連動により観光情報の発信を強化し、外国人をはじめとした観光客の満足度及び周遊性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域wifi整備計画の策定 ・無線アクセスポイントの整備完了 ・観光ポータルサイトを利用した観光情報のプッシュ型配信による施設案内の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域wifi整備計画の策定 ・無線アクセスポイントの整備完了 ・観光ポータルサイトを利用した観光情報のプッシュ型配信による施設案内の充実 		
1	9	南城市産商品販売力及び観光PR強化事業	H27 ~ H29	関東や関西の大都市圏や、国外で開催される全国物産展や祭り等で、南城市産の商品や観光資源を情報発信すると共に、プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進を行う。また、集客のツールとして、南城市公認キャラクターの上記物産展への同行や、南城市オリジナルノベルティグッズの制作を行い、“受け身”でなく“働き掛け”の観光客誘致活動を行なう。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏での物産展参加による南城市や市産商品の認知度の向上 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信 ・プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏での物産展参加による南城市や市産商品の認知度の向上：市及び市産商品のPR ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信：発信実施 ・プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進 		
1	10	観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	H25 ~ H28	住民と観光客との交流拠点や防災機能拠点施設として整備し、地域の伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進し、観光振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度の供用開始に向けた事業の着実な実施(基本・実施設計委託業務の完了) 	平成29年度の供用開始に向けた事業の着実な実施(基本・実施設計委託業務の完了)		
1	11	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ~ H29	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアの安全確保のため、駐車場から斎場御嶽までの歩道整備や市内に点在する史跡の駐車場整備等により受入体制を整え、更なる観光振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の安全対策の実施 ・歩道及び道路カラー舗装整備(設計委託業務・工事)の完了(岬公園から物産館まで、知念郵便局から斎場御嶽まで) ・国有地購入(268.18㎡) 久手堅船だまりの機能強化 ・施設整備工事の完了 		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	12	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27 ~ H29	プロサッカーキャンプ受入及び公式戦受入の対応ができる陸上競技場・体育館施設の機能を強化整備し、市民の健康増進に対する意識の向上を推進していく。	南城市陸上競技場に関する基本設計の策定	南城市陸上競技場に関する基本設計 策定		
1	13	南城市観光コア施設整備事業	H27 ~ H31	本市の観光情報発信・観光交流、観光振興及び観光客の利便性向上を図るための観光交流拠点整備構想を策定し、情報発信・交流拠点施設整備を行い、更なる観光振興を図る。	施策展開に向けた基礎資料を整理し、観光コア施設整備に向けた基本構想の完了		繰	
1	14	観光交流施設機能強化事業	H27 ~ H29	市内に点在する観光地(城跡等)を訪れる観光客等の憩いの場として、新たな拠点地づくりを行い、グスクロード公園・知念岬公園(既存施設内)に遊具等を整備し、機能強化することで観光客等利用者の利便性の向上を図る。	実施設計の完了 (次年度より年次的に公園の機能強化を図る)	実施設計 完了		
2	1	平和発信プロジェクト事業	H24 ~ H30	戦後70年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れている中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会として、南城市独自で制定した平和の日(8月10日)に劇の上映、またイベントを開催する。	・劇の上演・イベントの開催 延1000人 ・市民参加のワークショップの開催により、市民の平和への意識の向上 ・ハートのまち宣言策定により、市民の平和への意識の向上	・劇の上演・イベントの開催 延1,360人 ・市民参加のワークショップの開催により、市民の平和への意識の向上 ハートのまち宣言策定により、市民の平和への意識の向上		
2	2	平和学習受入体制強化事業	H25 ~ H27	平和学習の一環として第二次世界大戦の追体験を行っている糸数アブチラガマ壕内の緊急時における通報システムの構築及び施設外に保管している日本軍の150mm加農砲等を移設展示し平和学習受入れ体制を強化する。	・見学者の緊急時における迅速な対応の確保 ・平和学習施設の強化		繰	
3	1	蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24 ~ H28	強風等自然災害による被害を軽減し、農作物の安定生産が図れる施設栽培を奨励するため、既存施設の強化及び防風壁導入を支援する。	既存の農業用施設等の整備(10ヶ所)	既存の農業用施設等の整備(18ヶ所)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	2	漁港巻上機・施設機能強化事業	H24 ～ H27	水産業の振興を促進するため、台風時において、船の避難をスムーズに行うため巻上機施設の機能強化を実施する。	・漁獲量を向上するための機能強化 ・漁業基盤の整備	・漁獲量を向上するための機能強化 ・漁業基盤の整備		
3	3	耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ H29	定時・定量・定品質の農作物出荷を行うため、気象条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウスを整備し、農家の経営安定及び産地の形成を図る。	耐候性ハウスの整備(10000㎡ 約30棟)	耐候性ハウスの整備(9,324㎡ 約27棟)		
3	4	つくり育てる漁業振興支援事業	H26 ～ H27	獲る漁業からつくり育てる漁業への転換を目指し、養殖業を取り巻く課題解決に向けた対策を支援することで、水産業の振興を図る。	品質向上の強化 モズク網干し柵の設置(1基)	モズク網干し柵の設置完了(1基)		
3	5	優良繁殖牛リース支援事業	H26 ～ H33	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%(全導入目標頭数:400頭)	・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%(全導入目標頭数:400頭)		
3	7	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	・導入頭数50頭 ・今年度導入率20%(全導入目標頭数:250頭)	・導入頭数52頭 ・今年度導入率21%(全導入目標頭数:250頭)		
4	1	消防救助艇・牽引車両整備事業	H27	海や川に関する事故・災害等が起こった場合に、迅速かつ確実に対応するため必要な装備を整備し、消防力の強化に繋げ住民や観光客の安心安全を確保する。	水難救助体制の機能強化	水難救助体制の機能強化		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	1	幼小中学校学習教室空調設備整備事業	H24 ~ H27	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。	夏場における安全・快適な学習環境の整備	夏場における安全・快適な学習環境の整備		
5	2	小中学校パソコン機器整備事業	H25 ~ H29	学校教育振興に資する学校教育用パソコンを小・中学校へ導入することで、児童・生徒がICTを活用する上で必要な知識・技能の習得や、また、様々な教科の中でICTを活用した学習活動に取り組むことにより、情報化社会に即応する技能を身につけた人材の育成を図る。	パソコン教室：パソコン機器等一式整備 ・小学校低学年：パソコンに興味関心を引き出す ・小学校高学年：パソコンの基本操作の習得、各教科の調べ学習の向上 ・中学生：パソコンの技能の習得	パソコン教室：パソコン機器等一式整備：実施 ・小学校低学年：パソコンに興味関心を引き出す：意識向上 ・小学校高学年：パソコンの基本操作の習得、各教科の調べ学習の向上：操作習得、学習向上 ・中学生：パソコンの技能の習得：技能習得		
5	3	学習支援員配置事業	H25 ~ H29	通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的として、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。	・学力到達度調査において無回答率の縮小 小学校 算数 3.0ポイント(0.6ポイント改善) H26年の無回答率 3.6ポイント H26県平均の無回答率 4.3ポイント 中学校 数学 12.0ポイント(0.7ポイント改善) H26年の無回答率 12.7ポイント H26県平均の無回答率 14.9ポイント	・学力到達度調査において無回答率の縮小 小学校 算数 3.0ポイント(0.6ポイント改善) 中学校 数学 12.0ポイント(0.7ポイント改善)		
5	4	特別支援教育・障害児ヘルパー配置事業	H25 ~ H29	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の受け入れ機会が増加しているところであります。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員や障害児ヘルパーを配置し、担任教師と連携の上、適切な特別支援教育を行う。	・学習や学校生活面におけるサポート体制を強化し安心して学べる学習環境の構築 ・幼児・児童・生徒個々の特別支援教育支援員・障がい児ヘルパー活用報告書の作成(年2回)	・学習や学校生活面におけるサポート体制を強化し安心して学べる学習環境の構築：サポート体制の強化 ・幼児・児童・生徒個々の特別支援教育支援員・障がい児ヘルパー活用報告書の作成(年2回)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	1	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ~ H33	本市では神の島「久高島」や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。 これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 『御嶽・グスク編』刊行に向けた原稿作成の完了 『資料集戦争』刊行に向けた情報収集、調査の完了 『民俗』刊行に向けた方針決定、調査個票の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 『御嶽・グスク編』刊行に向けた原稿作成：61%完了 『資料集戦争』刊行に向けた情報収集、調査：14%完了 『民俗』刊行に向けた方針決定、調査個票の作成 		
6	2	文化センター機能強化事業	H25 ~ H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、床面や付属設備などの整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施によって、より多面的な施設の使用による活用の促進 グランドピアノ等の購入により、施設使用者による多彩な公演の促進につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> より多面的な施設の使用による活用の促進 施設使用者による多彩な公演の促進 		
6	3	文化のまちづくり実行委員会支援事業	H24 ~ H33	地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センター・シュガーホールを拠点に、音楽や演劇の公演、バックステージ講習、ボランティア育成事業等の各種公演、研修事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 第21回おきでんシュガーホール新人演奏会 400名 シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 1,150名 10th' Jazz in Nanjo 500名 学校めぐり出前授業 480名 	<ul style="list-style-type: none"> 第21回おきでんシュガーホール新人演奏会 304名 シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 370名 10th' Jazz in Nanjo 640名 学校めぐり出前授業 473名 		
7	1	健康づくり支援調査検証事業	H25 ~ H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催及び児童生徒生活習慣病予防健診等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、健康体操等の実施後に、アンケート調査等を行い、事業効果を評価検証し、市民の健康増進意識の向上を図る 中学生(約500名)を対象とした血液検査を実施・検証し、その結果返しの中で、親子へ保健指導を行い、生活習慣病予防意識の向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、健康体操等の実施後に、アンケート調査等を行い、事業効果を評価検証し、市民の健康増進意識の向上 中学生(約391名)を対象とした血液検査を実施・検証し、その結果返しの中で、親子へ保健指導を行い、生活習慣病予防意識の向上を図る 		
8	1	企業誘致等促進調査事業	H27 ~ H31	本市の土地利用を含め企業誘致適地箇所及び誘致企業を探り、誘致に向けた課題・問題点等の整理を行ない、本市における企業誘致の可能性調査を実施する。また、本調査の結果を踏まえ、企業誘致を促進するため、企業の受入体制を構築(産業集積拠点地整備)し、企業の集積により本市の産業振興・地域活性化に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> 企業適地調査の完了(翌年度に向けた企業適地箇所の条件整理確認) 	<ul style="list-style-type: none"> 企業適地調査の完了(翌年度に向けた企業適地箇所の条件整理確認) 		